

200歳万歳!

200歳まで生きる会
H二十年一月第二十号
あけましておめでとぅございます

音響療法について

音響療法がめざましく進んでいる

音響療法によって、直腸ガンがなくなった、うつ病が8回で治った、腹部の痛みがまったく消えた、顔のつやがよくなった、体の痺れが治った、背中の寒いゾクゾク感が消えた、認知症が治ったなど、音響療法のすばらしさを、つい最近、風音色の社長宮崎都さんから聞かされました。中国では、音響療法は、国レベルで病院に採用されているそうです。

音響療法が、どうしてそのように効果があるのでしょうか。音響ベッドに休んで、脊髄で感動の音楽を聞くと、波動エネルギーが細胞に伝わり、体温が38℃まで高められるのです。細胞の水分に、音楽を聞かせて温め、活性化させ、体温を38℃に高めることが、病状を改善することになります。

38℃という温度に秘密があるのです。人間の体温は、36.5℃が標準体温ですが、胎児は母親の羊水の中にあって、その羊水の温度は38℃だといわれます。胎児は、38℃の羊水の中にて、胎内の振動音を聞いて育っているのです。生後90日間は、赤ちゃんの体温は、母体内と同じ38℃を保っているといわれます。音の原点は、不思議なことに38℃なのです。体が38℃が原点の音楽を聞くので、その共鳴作用で、体温が38℃になり、体温が38℃の時が、免疫力

が最高に働き、38℃では、ガン細胞は全部死滅するといわれます。

音響療法を行って、脊髄に音楽を聞かせると、体内の温度が38℃に上昇するのです。

腸壁は低体温になると、ウイルスやバクテリアなど、おびただしい数の菌が増殖し、これが血中に入り込み、全身に運ばれて、毒素として働きます。血中に入った腸内細菌は、全身の臓器に運ばれ、臓器を痛めます。脳も、この被害を免れることができず、当然思考回路がまともに働かなくなり、そのため、低体温の人は頭の働きがキレて、人を殺すということを無意識レベルで行うようになります。低体温が不健康な思考の基になるからです。現在、非社会的な疾病が流行しているのは、現代人が食性を無視して、毎日頭をおかしくするような毒を持った食品(加工食品、農薬のかかった食品)を摂っているからです。音楽療法は、微細な波動エネルギーを発信して身体に吸収させ、それによって体温を上昇させ、体を温めます。

音響療法は、波動温熱エネルギー療法なのです。音楽を脊髄に響かせることで、細胞や中枢神経、血液、リンパ液が活性化され、正常な働きをするようになります。心や体を癒します。音響療法で、現代広がっている低体温を解消させることができるのです。

音楽の響きは、細胞を温め、酵素を活性化し、増殖させる働きがあるといえます。細胞の水分を音の響きで温め、みずみずしい細胞に若返らせ、若さと長寿を得させるのです。音は、耳で空気振動音として聞くのではなく、脊髄に響かせて骨導音として聞くのが能力アップの秘密なのです。脊髄で感じ、共鳴現象で聞くと、くり返し聞くほど共鳴が深まり、細胞の働き、DNAの働きを変えていきます。血液はサラサラになり、血液の病気、ガン細胞、ウィルスの病気など、さまざまな病状が改善されるのです。

音楽を耳、骨、体全体で聞くと、音楽の聞こえ方が変わります。これまで聞きとれなかった音が、聞きと

れるようになります。音感が変わります。音楽の感じ方に革命が起きますのです。音楽のわからない人は、音楽をCDで耳で聞いていてはだめです。骨導音で聞くことが、能力アップの秘密なのです。

骨導音で聞くと、聴覚が変わるのです。音楽のわからない人が、耳で聞くのではなく、体で聞きはじめる、体の深いところで共鳴が起り、深い感動を覚えるようになります。音楽を骨導音で聞くと、聴覚が変わり、共鳴波動となつて心に響き、感動を呼び起こす結果になるのです。

そういうことがわかって、音響療法が著しく広がりはじめています。音楽は、近代医学を根底から変えてしまう可能性がある、その上、人間の能力を根本から変える力があるとまでいわれているのです。

お問い合わせ先…風音色株式会社

TEL 03-5157-0151

URL: <http://www.funairo.jp>

七田 眞(しちだ まこと)

1929年、島根県出身。教育学博士。しちだ・教育研究所会長。七田チャイルドアカデミー校長。1997年には社会文化功労賞を受賞。世界学術文化審議会より国際学術グランプリを受賞。また国際学術院の世界知的財産登録協議会より、世界平和功労大騎士勲章を受章。2003年には東久邇宮記念賞を受賞。現在、七田式幼児教育を実践している教室は全国で約450を数え、アメリカ、韓国、台湾、シンガポール、マレーシアにも七田式教育論が広がっている。



特集記事

健康長寿の鍵は酵素が握っていた

1. 酵素の働きがよく知られるようになったのは、 つい最近のこと

酵素というのは、つい最近まで、栄養素の中には入っていませんでした。タンパク質を摂ると、酵素も自然に摂取され、かつ酵素は無限に作り出されるものと勘違いされていたからです。ところが、アメリカのエドワード・ハウエル医学博士によって、1985年に「正しい酵素栄養学」が初めて世に出され、すべての人が酵素について詳しく知ることになったのです。博士は、50年にわたる酵素の集大成を酵素栄養学で発表したのです。

博士の発表した酵素の研究は、実に画期的なものでした。病気がなぜ出現するのか、という根源的な問いへの答えが、酵素の真実を知ることによって、完全に解明されたのです。寿命は、酵素の内在量によって左右されるということも、博士の研究によって、はっきりしてきました。今までは、寿命はその人の運命だと思われていたのが、酵素次第で、長くも短くもなるということがわかったのです。ハウエル博士の酵素栄養学こそ、健康長寿を願うものにとって、詳しく知るべきことがらです。

酵素には、消化酵素と代謝酵素の2つがあつて、この2つを合わせて体内の潜在酵素といえます。口から入ってきた食べものを消化するのは、消化酵素の働きです。代謝酵素の方は、体を作り、病気を治すのに使われます。私たちのすべての生命活動は、

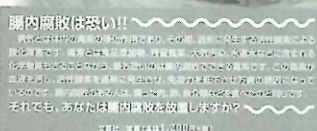
この2つの酵素によってなされているのです。ところで、人間の体内で、一生の間に作られる酵素の量は、限定されているのです。これは、エドワード・ハウエル博士の研究によって確かめられました。この2つの酵素は、同じ潜在酵素から作られるので、消化酵素としての潜在酵素をたくさん使ってしまうと、その分代謝酵素の量が激減してしまいます。すると、体は病気がちになり、不健康になり、寿命が短くなることになります。

つまり、私たちは、健康長寿を保つためには、消化酵素をなるべく使わないで、節約した生活をするのが重要ということになるのです。ところが、現在の生活の中では、加工食品やストレスなどによって、酵素を破壊する物質が増えてきていて、昔よりも多くの酵素を消費するようになってきています。

消化酵素をできるだけ節約するには、外部からの酵素、食品酵素を取り入れる知恵が必要です。食べものに含まれる自然な酵素を補給するようにするとよいのです。たとえば、パイナップルやキュウイやパパイヤは消化酵素がたっぷりです。食事と一緒に摂ると、体内酵素の節約になります。大根おろしや自然薯、キャベツの生葉食がよいのです。

腸内腐敗は 万病の元

健康法研究家 阿部 智浩



驚異の洗腸・整腸療法

腸内腐敗は怖い!!
腸内腐敗とは、腸内に腐敗菌が増殖し、悪臭を放つ状態のことです。腸内腐敗は、腸内環境を悪化させ、免疫力を低下させ、様々な病気の原因となります。腸内腐敗を防ぐためには、腸内環境を整えることが大切です。本誌では、腸内腐敗を防ぐための洗腸・整腸療法を紹介しています。

2. 血液はどうして汚れるか

夫婦で同じ食事をしているのに、一方は病気をし、ガンにかかり、一方はそうではないということがよくあります。これは、どうしてなのでしょう。その原因は、体質の違いにあります。人には、A、たんぱく質の分解が苦手というタイプ、B、脂肪の分解が苦手というタイプ、C、炭水化物(糖分)の分解が苦手などというさまざまなタイプがあります。A、Bのタイプの人が肉が好きで、よく食べていたらどうなるでしょう。未消化の物質が体内にたまり、病気になるります。

ライブラッドテストで血液を調べると、分解能力の傾向がわかり、どのような食事をすればよいかがわかります。悪いものを食べると消化されず、血液中にゴミがいつぱいたまります。毒素の排泄が追いつかないからです。人間ドッグの血液検査で異常なしだったのに、ライブラッドテストで調べたら、血液中にゴミがいつぱいあったという人もいます。

これまでは、血液中には菌はいないというのが常識でした。ところが、そうではないのです。水虫が治りにくい人の血液には、水虫菌がうようよいっていることなどがライブラッドテストでわかるようになります。歯周病の人は、体中の血液にカビがいつぱいあったりするのです。血液中の赤血球が変形してしまうと、疲れやすくなります。これは、血中に毒素が増えた現象です。

食べものが体内環境を作っているのです。内臓は、食事によって生まれ変わるものなのです。血液をサラサラにするのは、もっとも大切なことで、それは消化酵素の働きによるのです。カロリー栄養学ではない、消化、吸収、排泄の栄養学なのです。つまり、消化酵素の栄養学なのです。消化されないものは、

体内で毒素になると覚えておきましょう。

食べものを正すと、胃腸はきれいになります。胃腸のきれいな人は、体全体が健康なのです。人の健康は、飲みもの、食べものによって決定するのです。体に悪いものを摂っていれば、体に異変が起こるのです。

胃腸をきれいに保つには、なるべく生野菜、果食を心がけましょう。

調理して熱を加えると、外部酵素は42度以上の熱で死んでしまいます。自然界の動物が病気にくいのは、生食で食品酵素を壊さないで食べているからです。できるだけ、自然なものを生で食べるようにしましょう。天然の野菜の中には、分解酵素が含まれていて、従って体内の消化酵素のアミラーゼの分泌が少なくて済むのです。

動物に煮たり焼いたりしたものを食べさせると、人間と同じように病気をすることになります。

コンビニのお惣菜ばかり食べていると、血液の質が悪くなります。すべて加工された食品だからです。

日々、口にする食べものはできるだけ自然な、加工していない食品にしましょう。そうすれば、消化酵素の消費が少なくなります。自然なものを75%くらいにすると、血液をきれいに保ち、健康に過ごすことができます、長寿につながります。

3. 胃腸の状態は、健康や寿命を写しだす鏡

アメリカでは、1980年頃から食に関する意識が変わってきました。それは、1977年にマクガバン・レポートが政府によって発表されたことに始まります。

レポートによって、今のアメリカ人の食べものは適していない。肉類を過食しないで、動物食よりも炭水化物や野菜を中心にした食事がよいとわかって、アメリカ人の間には、健康な食環境が浸透してきているのです。そのため、1990年以降、アメリカのガン患者の死亡率は減少してきています。政治力の強さを感じます。

アメリカでは、肉よりも魚介類がよい、牛乳やマーガリンはよくない、ということがアメリカ国民の間でどんどん浸透してきています。日本では、そうでないのが問題です。

美食におおわれると、肉、卵、牛乳などの動物食品を無頓着に摂取して、腸内でこれらが腐敗して、大量の毒素が腸内で作られます。腸内腐敗でできる毒素こそ、すべての現代病の主因なのです。

これらの毒素を腸内で作らないこと、そして、毒素ができ始めたら、早急に排泄すること。腐敗し易い動物食品は摂らないようにすることが大切なのです。

腸内腐敗が進んでいる人の大便やおならには悪臭があるのです、すぐわかります。大便やおならに悪臭があるのは、腸内腐敗の証明です。すべて、本当に健康な人や長寿者の長寿者の大便には悪臭がないといわれます。野生の動物の大便にも悪臭はないといわれます。

腸内腐敗を無視する健康法は、偽者の健康法です。腸内腐敗は、胃腸の状況を最悪にします。胃腸の状

態こそ、健康や寿命を写しだす鏡なのです。日本人の体には、動物性の食事は体に合わないのです。動物食は、体内で腐敗し易く、過剰摂取はよくないとい心得ておきましょう。

『病気になるない生き方』（サンマーク出版）を書いた新谷弘美先生は、過去35年、人の胃腸を顕微鏡で覗いてきて、胃腸のきれいな人は健康という結論を導きだされました。

4. ミラクル・エンザイムが寿命を決める

ミラクル・エンザイムは寿命を決めるとは、新谷弘美先生の言葉です。先生は、医師になって45年の間、一度も病気になることがないと言われます。医師の治療を受けたのは、19歳の時にインフルエンザにかかったのが最初で最後だそうです。

先生がそのように健康を保ち続けているのは、実はある健康法を日々実践しているからであると言われます。この健康法を実践してもらおうようになってから、先生の治療したガン患者のガン再発率は0%と言えるほどになったそうです。

新谷先生の健康法とは、どんな健康法でしょう。

胃や腸をきれいに保つという健康法です。そのためには、ミラクル・エンザイムを消耗しない生活を送ることだと先生は言っておられます。ミラクル・エンザイムとは何でしょう。人間の生命活動を担っている5千種以上の体内酵素の原型となるエンザイム（酵素）のことです。

先生は、流行の健康法には嘘がいっぱいだと言っておられます。たとえば、次のような健康法です。
・腸のために毎日ヨーグルトを食べるようにしている

・カルシウム不足にならないように、毎日牛乳を飲んで



・果物は太りやすいので控え、ビタミンとはサプリメントで摂るようにしている

・太りすぎないように、ごはんやパンなど炭水化物はなるべく控えるようにしている

・高たんぱく低カロリーの食事を心がけている

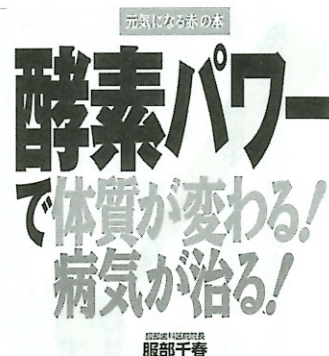
・水分はカテキンの豊富な日本茶で摂るようにしている

・水道水は残留塩素を抜くために、必ず一度沸騰させてから飲んでいる

これらは、一般的に健康によいと考えられていることばかりですが、先生から見ると、すべて胃や腸の様子を悪くする間違った健康法だと言われるのです。

お茶を飲むことは危険なのです。お茶のカテキンがDNAを損傷するというレポートが、2003年の9月に日本癌学会において、三重大学の川西正祐教授によって発表されたそうです。

これらの間違った食事の摂り方は、ミラクル・エンザイム（酵素）を消耗する生活習慣で、消化不良を起こしやすく、腸内腐敗を作りやすくし、生死に直結しているのです。大切なのは、摂った食事が胃腸内でよく消化されることです。新谷先生は、今の食の常識を信じていると、命が危ないと警告しておられます。牛乳ほど消化の悪い食物はないと先生は警告しておられますが、日本人で、どれほどの人たちがこの事実を知っておられることでしょうか。牛乳を飲みすぎると骨粗鬆症になる。ヨーグルトを常食していると腸内環境が悪くなる。こういう事実を「200歳まで生きる会」の会員さんならば、常識として、当たり前前に知ってくださらなくてはなりません。



5. 酵素を無駄に消費させる食事を控えよう

酵素を無駄に消費させる食事は、過食、加工食品、インスタント食品、砂糖の入った料理、スナック菓子、和菓子、洋菓子、アルコール類、精製した食品（白米、パン）、残留農薬が多い野菜、加工調理したもの、生の種（酵素抑制物質が含まれる）等です。

消化酵素の使用をできるだけ減らすためには、過食をしないことが一番大切です。過食をすれば、大量の消化酵素を使うからです。健康長寿のためには、少食にすること、低カロリー食にすること、自然なものを生で食べることで、消化を助ける発酵食品、みそ、しょうゆを利用することです。過食をすれば、一生のうちに使う消化酵素の量は決まっているので、急速に消化酵素を使い尽くすことになり、寿命を短くする計算になります。

また、便秘ができません。便秘は、食べものをうまく排泄することができないということですから、どれほどよい食事を摂っていても、腸内で腐って毒素を生み出してしまいます。こうなると、たちまち腸内細菌のバランスが崩れ、毒素が血液中に流れ出します。だから、便秘をしないように心がけなくてはなりません。便秘を解消する画期的な方法は、「浣腸をする」ことです。

新谷先生のミラクル・エンザイムの消耗を防ぐ生活習慣を最後に紹介して、このコラムを終わりにします。

ましょう。

まず、一番大切なのは、規則正しい生活をする。夜更かしをしたり、不規則な生活をしたりするのは、ミラクル・エンザイムを浪費します。過労で人が死ぬのは、ミラクル・エンザイムを急速に消耗してしまうからです。朝、日課の運動をしましょう。運動の後には、500〜750ccの20度くらいの温度の水をゆっくり飲みます。その後、20分ほど経って、水が腸に移動したところを見計らって、まずエンザイムを豊富に含んだフレッシュな果物を食べます。朝食を食べるのは、その後、30分後くらいです。

食事は、精選した白米や白パンを避けて、玄米に5〜7種類の雑穀を混ぜたものにし、おかずは温野菜と納豆と海苔などにします。要は肉食を避けて、菜食を中心します。フルーツは、食べたいだけ食べべてほしいが、食後ではなく、食前に食べるようにします。そして、よく噛んで食べる。コーヒーや日本茶はできるだけ飲まないようにすること。こまめに仮眠を取ること。運動のし過ぎをしないようにすること等々。

「人間が健康長寿で過ごすには、健康に生きるためのシナリオがある。そのシナリオに耳を傾け、自らに備わった自然治癒力を目覚めさせ、命を養っていく医学に考え方を変えていくべきだ」と先生は言っておられるのです。

参考文献 『病気になるない生き方』 新谷弘美著／サンマーク出版／1,680円（税込）

『腸内腐敗は万病の元』阿部智浩著／文芸社

／1,260円（税込）

『酵素パワーで体質が変わる！』／服部千春著／主婦の友社／

トピックス

若返りの秘法チベット体操

チベット体操のことは、12号会報に書きました。けれども、あれだけの記事では、真髓を伝えることができないので、不備を補うために、再度テーマとして取り上げたいと思います。

ヒマラヤの、人に知られない秘密の寺院では、修行僧のほとんどが100歳を過ぎているにもかかわらず、せいぜい30〜40歳くらいにしか見えないというのです。このチベット体操の目的は、単なる体操ではなく、霊的エネルギーを高めることにあるのです。そのために、チャクラの活性化が重要な目的として含まれています。

この体操を、単なる体操と捉えていては、毎日実行してもあまり効果を上げることはできないでしょう。チベット体操の目的は、若返り、不老にあるのです。そのためには、肉体レベルに留まるのではなく、エネルギー体への目覚めと、その純化法を知ることが大切です。

人間の背骨の一番下、仙骨のところには、クンダリーニという眠れるエネルギーがあつて、これを目覚めさせ、頭頂のチャクラにまで上昇させ、すべてのチャクラを開発するのが、このチベット体操の目的なのです。チャクラを活性化して莫大なプラナ（宇宙エネルギー）を吸収できるようにすることが、このチベット体操の目的なのです。

そのためには、チベット体操の真髓を学ばなくてはなりません。12号では、真髓が十分伝えられなかったので、その補講として、今月号で再びチベット体操を取りあげます。

チベット体操は、人間の体に秘められた宇宙エネルギーの取り入れ口、7つのチャクラを目覚めさせることが目的なのです。私たちが7つのチャクラを常に活発に動かすことができるようになれば、私たちは、まったく別人になれる。老化せず、若さを保つことができるようになります。この7つのチャクラを目覚めさせるには、単なるチベット体操ではいけません。祈りを活用することが重要なのです。

このエクササイズは、とても簡単です。誰でもできます。しかし、何より大切なのは、集中力です。頭で他のことを考えながら、あるいは、テレビを見ながらやっているのでは、単なる体操に終わり、本来の目的には全然添いません。肉体の動きを利用しながら、チャクラという目に見えない宇宙エネルギーの取り入れ口を活性化させようというのが目的なのです。チャクラを目覚めさせ、肉体の器官を若返らせるには、精神集中とある決まった瞑想（観想）が必要なのです。

私たちの「想い」のエネルギーこそが、チャクラを活性化する原動力なのです。

以下順番に、第一チャクラから、どのような想いでチャクラを開いていくのか、その秘密を述べていきます。

第一の儀式

両手を水平に開いて立ちます。目を開けたまま、右回りにできるだけ速く回転します。回転している

間、「多くのエネルギーが入ってきて、内臓を浄化し、健康になりますように。チャクラが開発されますように」と聖なる母に祈り続けることが大切です。体の回転にしたがつて、チャクラも回転しているので、それを強く想像し、感じながら回転することが必要です。回り終わったら、ストップすると同時に目を閉じ、エネルギーの流れや、チャクラが速いスピードで渦巻いている様子を感じ取るように努めること。体の内側に、回転する感覚がなくなったら目を開けます。回りながら、第一のチャクラから順に第七のチャクラまで、めざましく回転し始めるのをイメージしていきましょう。

第二の儀式

床に仰向けに寝て、両脚のかかとを合わせ、両手は水平にして、体に十字型を形づくり、聖なる母に、「私の脳神経の治療を助けてください」と祈り、そして目を閉じます。次に、脳と交信します。脳に限らず、私たちの体の器官、内臓等と交信するのは、とても重要なことです。次の呪文を唱えることによって、コミュニケーションの回路が開けます。

「開け、セサミ。」これを唱えることによって、与えられるエネルギーを吸収するために、体の器官が、実際に開きます。そして次のように、脳に話しかけましょう。「私の脳神経よ、開け、セサミ。私の受け取る宇宙エネルギーを受けよ。健康になれ」そして、脳が金色の光に包まれて洗浄され、イキイキと活動している様子を強く想像しましょう。それから、両脚をまっすぐ上げていきます。ピンと伸ばした足からは、エネルギーが入ってくる様子を想像し、感じましょう。そして、そのエネルギーが第一チャ

クラから順に活性化していき、第七チャクラの脳に行きついて、脳神経に吸収されることを想像します。エネルギーは、光の球体となつて、足の裏から入り込み、大変な速さで回転しながら脳にいたる様子をイメージしましょう。そうイメージすることによって、実際にそれが起こります。続いているうちに、本当に脳がエネルギーを吸収している感覚がわかるようになります。

終わったら、ゆっくり足を下ろし、仰向けのまま両手を胸の前で交差し、受けたエネルギーを自分の内に保存しましょう。聖なる母に、心の中で感謝をささげ、自分の脳神経がすっかり回復している様子をイメージするために、しばらくの間、瞑想しましょう。

第三の儀式

両膝を、床につけてひざまずき、腕を胸の前で交差しましょう。その姿勢で、上体を少し前に傾け、プラーナ・ヤマ呼吸法を6回行います。プラーナ・ヤマ呼吸法は、次のとおり。人差し指で、左の鼻孔を押さえ、右の鼻孔からゆっくり息を吸います。吸い終わったら、親指で右の鼻孔をふさぎ、苦しくなるまで息を止めます。苦しくなったら、人差し指をはずして、左の鼻孔から肺のすべての空気を吐き出し、吐き出し終わったら、同じ鼻孔からゆっくり深く息を吸います。吸い終わったら、人差し指で鼻孔を押さえ、息を止めます。苦しくなったら、今度は親指をはずして、右の鼻孔から息を吐きます。吐きき終わったら、同じ鼻孔から息を吸います。これを左と右で一回と数え、3回くり返します。

プラーナ・ヤマ呼吸法が終わると、上体を前に倒

し、手をついた上に額を乗せて、深々とお辞儀をします。そして、祈りを唱えます。祈りを唱え終わると、姿勢を元に戻し、今度は上体を後方に傾けます。そのまま、次のように祈ります。「私の心臓よ、開け、セサミ・オーン」このマントラは、ハートチャクラを開発する効果を持ちます。祈りながら、太陽から赤い光が注がれ、太陽神経層（第三チャクラ）から体に入り、心臓（第四チャクラ）まで上昇して心臓を強化し、ハートに愛と力を注ぎ込んでくれるイメージをしましょう。

第四の儀式

両脚を投げ出して座ります。そして、クンダリーニに意識を集中して、聖なる母に次のように、祈りの言葉を唱えて、助けを祈ります。「聖なる母様。（聖なる母は、すばらしいエネルギーを持ち、いつもあなたを見守ってくださっているのです、呼びかけに必ずこたえてくれます）私を常に導き、光を与えてくださる母様、その光のエネルギーが私の体に差し込みますように。その光が、私を健康にしてくれますように。あなたの愛で、私が変革しますように」祈り終わったら、膝を立て、第一チャクラからエネルギーを取り入れながら、腰を上げていきます。テールブルのような格好になります。そのポーズで、内臓に語りかけます。特に、心臓、胃、生殖器、卵巣を強化し、若返らせるのに効果があります。自分の強化したい器官に語りかけ、祈ります。「私の脾臓よ、開け、セサミ。このすばらしいエネルギーを受けてください。細胞よ、若返れ。チャクラよ、活動せよ」体に無理がない程度の時間そのポーズを続けたら、ゆっくり元の姿勢に戻します。それをくり

返します。

第五の儀式

ひざまづいて、③で行ったプラーナ・ヤマ呼吸法を行います。次に、腕立て伏せの姿勢をとり、聖なる母に意識を向けて、このエクササイズによって、肉体が強化されるように祈ります。肝臓と背骨の強化に効果のあるポーズなので、肝臓が正常化し、背筋が正しく伸びていることをイメージします。そのまま腰を上げていき、ピラミッドのポーズを息を吐きながらとります。その姿勢で、自分が特に働いて欲しいと思う器官に語りかけます。「私の脳細胞よ、開け、セサミ。清らかなプラーナが流れ込むのを吸収せよ。血液が浄化され、脳細胞のすべてがイキイキと働きますように」そのように祈り、続いて息を吸いながら、腰を下げていき、上半身を反らし、弓なりになり、できるだけ体を反らして、その姿勢を保ちます。また、息を吐きながら、ピラミッドのポーズに戻ります。

以上の5つの儀式をゆっくり行います。エクササイズそのものが、祈りであるように行うことがよいとされています。このエクササイズで、もっとも重要なのは、「祈り」です。チャクラを開発するためには、高次の存在の援助が不可欠なのです。

健康情報

純金水の話

金、銀には、人体に対して驚くような効能があるようです。最近、純金水のお話を聞きました。世界で有数のお金持ちロックフェラーやロスチャイルドといった一族があります。この人たちが、ニュージェンチューリ研究所というのを作り、何と2兆円ものお金をかけて、不老不死をテーマに、科学者二十数名を雇って開発した純金水というのがあるのです。

通常、水に純金を溶かすことはできません。ところが、科学の力によって、特別な構造水を作り、純金水を作り上げたのです。この純金水は、分子が非常に小さく、3.6オングストロームで、人の細胞膜を透過するので、すり込むと、骨にまで楽々と浸透する特別な水です。通電性が強く、体内に取り入れれると、イオンに敏感に反応し、それによって血液中やリンパ液中に電気が発生し、血流循環がよくなり、体内の新陳代謝を促すことになります。生体電気の通りがよくなる結果、神経の働きも活発になるので、スポーツの選手たちが純金水を利用して成績を上げているという情報もあるくらいです。

何より、毎日連用することで、生体磁場が次第に整い、健康になるのです。

純金水の使用法は、一日一回、ごく微量を耳にすり込むのです。すると、それによって生体磁場制御パワーを最大限に発揮させることになるといわれます。

生体磁場は、地球磁場と連動して、生体にとってもっとも住みやすい環境を作ります。高僧が瞑想を行ったりするのは、正しく生体磁場を整える行です。その高僧の瞑想に等しい成果が得られるのが、純金

水を毎日耳によくすり込むという作業をすることなのです。

純金水をすり込むと、蝶形骨に影響を与えます。蝶形骨は、仙骨とともに、地球の磁場に同調し、宇宙のエネルギーを取り入れるアンテナの役目をしており、両目の裏、両耳の間にあって、全身の生体磁場を制御している骨です。純金水は、この蝶形骨の働きを正すので、健康が回復され、長寿に役立つのです。

人間の寿命を決めるのは、人体内のテロメアの働きだといわれ、テロメアは染色体の末端を保護する役目をしており、純金水を耳に塗るとテロメアが伸び、長寿に役立ちます。テロメアが短いと、細胞の老化が進み、全身の老化の原因になると示唆されていますが、テロメアが2倍に伸びて、普通の寿命の2倍もの寿命を約束するようになるので、人生125年といわれているこの頃から見ると、それが2倍に伸び、250年を約束するようになるといわれるのです。でも、これは、未確認情報で、科学的に実証されたものではありません。けれども、わかっていることは、テロメアが短いと、細胞の老化が進むといわれています。老化した動物では、テロメアが短かったことが報告されているのです。

世界のミリオネアで作っているミリアルデルクラブというのがありますが、この人たちは、今や、純金水を使うことで、250歳まで生きることが可能になったといっているのです。

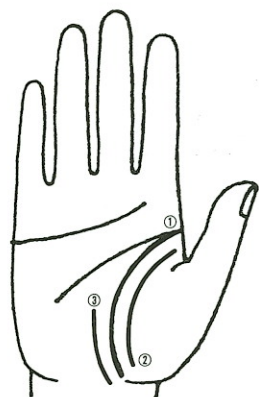
この純金水は、飲むタイプは手に入れたが、耳に塗るタイプは入手可能です。お問い合わせ先電話番号・090-4073-6673（フロンティア光栄株式会社）／E-mail: kuro@fj.co.jp URL: <http://www.fj.co.jp/shop/> をクリックしてみてください。

良書推薦コーナー

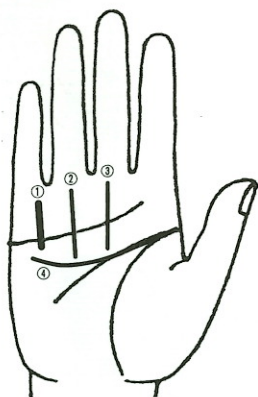
「歯医者さんが見つけた不思議な療法」金の力銀の力」西島明著／ごま書房／1,300円（税込）

金銀2本のペンで、体にデザインをイメージするだけで、体の細胞が、イメージと同じように動き出す。そんな療法があるのです。

現代の暮らしをする私たちの体には、歪みが出ていて、異常が増えているそうです。寿命が延びて高齢になるほど、歪みはさらにひどくなります。高齢者と限らず、一番体力のある20代30代の人たちにも、歪



健康運をよくしたい人
①、②、③、の順に線を引く



金運をよくしたい人
①、②、③、④の順に線を引く

電氣を使わない、太陽とともに生活するという本来の自然な環境の中で、生活している人々の間には、体の歪みが少ないものなのです。食生活が昔のままで、代々の伝統で生活している人たちは、歯並びもよく、瞳も輝いていて、姿勢がよく、生命力が溢れているものです。

そのような日常生活で生じた体の歪みを、なんとかというのです。矯正ができるということです。筋肉のここを動かしたい。顎関節を動かしたい、ここを動かすようにデザインしたい。などという方法は、今までありませんでした。それが今、金銀のペンで、自由に動かせるようになったのです。金銀のペンで塗ると、金色に塗った方向に、銀色を塗った部分から、筋肉が動いていくということです。

今では、齒のかみ合わせ一つで、顔がゆがんだり、姿勢が崩れたり、内臓諸器官の疾病にも影響が出るということがわかってきて、「全体で一つ。全体は部分を守り、部分は全体に影響する」という考えが、当たり前になってきています。

では、なぜ、金銀で筋肉が動くのか。実は、細胞のDNAに、金銀を識別できる機能があるからだと考えられています。金には、副交感神経に作用し、筋肉をゆるめ、リラックスさせる作用があります。銀は、交感神経に作用し、筋肉に緊張を与える作用があります。そこで、金銀のペンでデザインを書き込む時に、「この方向に動いて欲しい」とイメージして書くと、より効果的に筋肉が動いてくれるというのです。あるいは、「これは、股関節の矯正のために、書いているのだ」と

急性の炎症には銀、慢性の炎症には金を使います。

金銀で書くとは、銀から金に向かつて筋肉が動くのです。金と銀、銀と金では、同種なので反発します。塗る時に、金銀の量は多いほどよく、続けるほど効果が上がります。デザインは、中央に金、周りに銀、あるいは、中央に銀、周りに金を書き、12時方向から左回りに円を書きます。銀は入力で、エネルギーを収束させ、逆に中央に金、回りに銀を書いてゆるめます。

このように、金銀のペンで、現代病に対応できるので、この本には、そのようなことが書いてあり、新知識が学べ、おもしろく、かつ、非常に利用しやすい本です。金銀のペンで、即座に身体が変わり、健康に過ごせると書いています。大変学ぶことの多い本です。

[illegible]

生きる会も、今年で3年目に入ります。会員数も250名までに増えてきました。

200歳まで生きると思うようになると、急に目の前が明るく開けてくると、新しく会員になられた方たちが一様に言ってくださいます。そうなると、寿命をつかさどるDNAの情報が変わり、ホルモンの分泌が変わります。それまでは、100歳に向かって、死のホルモンを分泌していたのに、200歳に向かって、生のホルモンを分泌するように変わるといわれているのです。

実際に、100歳を超えて長生きしている人の数
が、年ごとに増えています。アンチエイジングに関
する本が次々に新しく出版されて、新情報が公開さ
れ、生・病・老・死についての、世の常識が、どん
どん変わりつつあることが、わかります。

そういう情勢なので、この会報で、新しい情報をお伝えしていくのに、伝える情報がなくて困るということは当分なさそうです。次々に、新しい情報をお届けいたしますので、そのどれを取り入れるかは、会員の皆様それぞれの自由です。

でも、お願いがあります。取り入れた情報が実際に、どのように役立ったか、編集部レポートをお寄せいただきたいのです。よい体験を皆様と一緒に分かち合いたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

七田眞

「200歳まで生きる会」

〒695-0011 島根県江津市江津町527-5

FAX	
0	0
8	8
5	5
5	5
52	52
5	5
7	3
9	0
7	1